

市町村名		伊平屋村						
平成 2 5 年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2 -		干ばつ対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—3—(7)—カ	
担当部課名		農林水産課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 2 6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備	
							—1—(6)	
事業内容		夏場や作付け時期となる終期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。						
実施方法		■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	15,000	8,000	-		
			(b)予算現額	2,257	17,903	-		
			(c)増減額(b-a)	▲ 12,743	9,903	-		
			(d)繰越額	-	-	11,637		
			A.計(b+d)	2,257	20,160	11,637		
		B.執行済額		2,257	6,266	11,635		
		うち交付金充当額		1,806	5,012	9,308		
		次年度繰越額		0	11,637	0		
		執行率(%) (B/A)		100.0%	31.1%	100.0%		
予算の状況の説明		平成25年度予算での施設整備を予定していたが、施設設置箇所及び配管の調整で時間を要したことで工事発注が遅れたとともに、入札不順になったことにより年度内完了が出来なくなったため、予算を繰り越しての実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況		H26活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		干ばつ対策施設整備工事	目 標	実施設計 (マリンタンク 小3基 配管 2,000m)	マリンタンク 小3基 配管 2,000m)	()	()	
			実 績	実施設計	マリンタンク 小4基 配管1,233m			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	平成25年度予算でマリンタンク4基及び配管1,223mの整備を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H26成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)
		平成24年度設置タンクからほ場への配管工事(L=2000m)及び散水用小タンク(3t程度)	目 標	()	実施設計 マリンタンク 小3基 配管 2,000m)	マリンタンク 小3基 配管 2,000m)	配管 2,000m 送水ポンプ一式)	(供用開始)
			実 績		実施設計	マリンタンク 小4基 配管1,233m	配管 2,000m 送水ポンプ一式	
		【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	平成25年度予算でマリンタンク4基及び配管1,223mの整備を実施した。平成26年度3月末で整備完了し、夏場や作付け時期となる終期・春期の水不足に対応し、稼働できるようになった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村の基幹作物である米やさとうきびに加え、新たな基幹作物として玉葱、甘しょ、ジャガイモ等の根菜類は地力低下による連作障害や干ばつによる影響が受けやすく、単収率や品質低下によって、農家の生産意欲の低下を誘発していることから、抜本的な対策強化が求められていることから、本事業により、夏場や作付け時期となる終期・春期の水不足に対応する為、マリンタンク等の施設整備を行った。 施設整備の完了により、近年慢性化している干ばつに対応できるようになった。	施設整備の完了したことで、干ばつ期における灌水の実施により、農作物の安定的な品質及び収量の確保、生産農家の意欲向上や所得向上を図る。
今後の取り組み方針		
・気象状況を把握したうえで、夏場や作付け時期となる終期及び春期の水不足に本事業整備した施設等の活用し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>11,635</td><td>11,635</td><td>9,308</td><td>2,327</td><td></td></tr></table> 伊平屋村 11,635千円 工事請負費 11,635千円 (有)伊平屋興業 11,635千円 平成25年度かんがい施設設置 工事(野南地区)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,635	11,635	9,308	2,327	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,635	11,635	9,308	2,327											
資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 工事業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であると考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○ 予算規模については、不用額が5%以下である為、適正な規模であったと考える。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○ 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊平屋村						
平成 2 5 年（繰越）度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		4 - 高齢者福祉施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (3) - ア		
担当部課名		住民課		事業実施（予定）年度		平成 2 4 ～ 2 5 年度		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 9		
事業内容		島内に一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の機能強化を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築に係る設計業務を行う。						
実施方法		■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	49,167	105,338	-		
			(b)予算現額	49,169	129,803	-		
			(c)増減額(b-a)	2	24,465	-		
			(d)繰越額	-	-	84,401		
			A.計(b+d)	49,169	129,803	84,401		
		B.執行済額		49,169	0	82,938		
		うち交付金充当額		39,335	0	66,386		
		次年度繰越額		-	84,401	0		
		執行率（％）(B/A)		100.0%	0.0%	98.3%		
予算の状況の説明		平成25年度予算増額については宿泊経費及び渡航費の積算見直しを行った事に伴い増額を行った。又繰越額については年度内で建築工事請負契約を交わし前払金の支払を予定していたが、3回入札に付したが3回とも技術者確保ができないことと理由で、全業者辞退となり、年度内での契約が出来なかった事から繰越を行った。執行については7月に契約を交わせたことから年度内完了に至った。						
活動目標（指標）及び達成状況		H25活動目標（指標）		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		施設機能強化・増設工事実施設計・施設機能強化工事	目 標	(実施設計・施設機能強化工事)	(建築工事・施工監理・物品購入)	()	()	
			実 績	実施設計の実施・施設機能強化工事	建設工事・施工監理・物品購入			
達成状況説明	平成26年度に建築工事・施工監理・物品購入を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況		H26成果目標（指標）		基準値 (24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (28年度)
		施設機能強化工事の完了	目 標	(一式)	(一式)	施設機能強化工事の完了	()	()
			実 績		一式	施設機能強化工事の完了		
							()	()
進捗状況説明	ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入が対応可能となり施設利用者の利便性が向上し機能強化が図れた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ショートスティや緊急避難時の在宅介護者の受入が対応可能となり施設利用者の利便性が向上し機能強化が図られ施設利用が促進された。	今年度の整備により課題であったショートスティや緊急避難時の在宅介護者の受入が対応可能となり施設利用者の利便性が向上し機能強化が図られ施設利用が促進された。しかしながら、既存施設では利便性及び効率性が悪い給湯システム及び居住ヶ所のスライディングドアの改善を図り、課題等を解消したい。
今後の取り組み方針		
今年度の整備により課題であったショートスティや緊急避難時の在宅介護者の受入が対応可能となり施設利用者の利便性が向上し機能強化が図られ施設利用が促進された。しかしながら、既存施設では利便性及び効率性が悪い給湯システム及び居住ヶ所のスライディングドアの改善が急務となっているため機能強化を図り、利用者の利便性向上に努める。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		82,983	82,983	66,387	16,596	0

伊平屋村
82,983千円

委託料
4,968千円

上城技術情報(株)
4,968千円

伊平屋村生活支援ハウス監理業務委託に係る経費

伊平屋村
82,983千円

工事請負費
74,030千円

前田建設(株)
74,030千円

伊平屋村生活支援ハウス増築工事に係る経費

伊平屋村
82,983千円

物品購入
3,985千円

サンメディカル
3,175千円

(有)サイエンスナカ
810千円

伊平屋村生活支援ハウス物品購入に係る経費

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○ 予算規模については事業内容の目的に適合した規模となっている。 ○ 選定方法は指名競争入札であり、適正に行われている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	